

ろむろむ通信

ろむろむ通信 第26号

2018年3月26日発行

社会福祉法人 よさのうみ福祉会
障害児(者)多機能型
生活支援センター ろむ
〒629-2531
京都府京丹後市大宮町
奥大野585番地
電話0772-68-3377
IP電話050-3539-6917
FAX0772-64-5044
発行責任者・管理者
山本優子

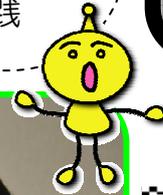
学びの場「きらり」〜第4回実践報告会〜

3月17日(土)、アグリセンター大宮で「きらり」実践報告会を行いました。

今回は、京都市で同じ学びの場を実践をしている「プエルタ」の理事長津村さんから、卒業後の暮らしが豊かになる学びや働くことを続けるために大切な余暇についての実践例をお話いただきました。次に、1〜3年生の学生が1年間の学習の中から選んだテーマを報告しました。6人の学生はスーツに身を包み、緊張しながらもパソコンを操作し自分の言葉で学んだこと、感じたことを伝えました。リハーサルでは舞台上に立たなかった学生が本番ではマイクを持ち報告したり、身振り手振りを加えて流暢に報告を進める3年生など、一人一人がきらりと光る報告会でした。また、昨年11月にきらりを終了し福祉就労した仲間から「昔の私と今の私」について報告してもらいました。3年間、同年代の集団で学びあい、自分の悩みと向き合い、じっくりと話し合えたこと、同級生と学ぶことで成長したいと思えたことが成長につながり、今の仕事が頑張れているという内容でした。

参加した方からは「支援学校を卒業してからの成長した姿に驚きました。青年期のゆっくりとした学びの場で自分づくりを行う事の必要性を感じました。」という感想を頂きました。

青年たちが、学びの中で自分をゆっくりと育て自信を持って働く社会に巣立っていけるよう、これからも充実した学びの内容を積み重ねていきたいと思えます。



の学びの底力
供から大人へ学校から社会へ
二重の移行をゆっくりとした
特設非営利活動法人プエルタ
理事長 兼 施設長



の底力
大人へ学校、
移行をゆっ
りとした
定非営利
理事長



子びの底力

堂々と学習成果を報告できました。



の底力



化石の採取



陶芸教室



壁新聞を作ってます



調理実習

会場設営も自分達でしましたよ

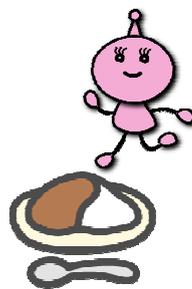
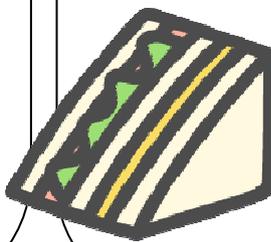


実践報告会の準備
第4回実践報告会の準備を1月頃から少しずつ行いました。発表するテーマを考え、そのテーマに沿った内容をパワーポイントで作成しました。壁新聞や展示物を選定したり作成もしています。実践報告会の前日から会場設営も自分達で行いました。



「ついでついで」班

2月、宮津の「村田堂」さんへ出かけました。村田堂さんとは、コーヒーの入れ方を教えて頂いたりと喫茶を楽しみに行ったりして交流させてもらっています。この日はランチ&コーヒーを楽しみました。おしゃれなお店でほっぺが緩むひと時を満喫しました。



「ままと班」

今年度も支援学校の作品展に、とまと班からも出展させて頂きました。いつも取り組んでいる曼荼羅塗り絵を貼り合わせ「シンデレラ」の壁掛けと、ダンボール財布を作りました。皆で役割分担し素敵な作品が出来上がりました。



ダンボール財布

曼荼羅塗り絵



シンデレラの壁掛け

「生活訓練」〜美術講座〜

美術講座では今回、レリーフに取り組みました。①下書きをして②彫刻刀で彫り③やすりをかけて④色をつけて⑤二を塗って完成です。とても工程が多く根気のいる作業でしたが、ステキな作品が完成しました。お天気の日はテラスで色塗りをしたりなど、爽やかな空気を感じながらの完成となりました。



レリーフが完成しました

「日中一時」〜公園でいっぱい遊んだよ〜

あっという間に一年が終わろうとしています。日中一時を振り返ると児童さんの笑顔がたくさん見られていました。夏休み、冬休みどんなことしようかと毎回ワクワクして取り組みを進めました。大丈夫かな?と不安もありましたが、ご家族のご協力もあり、無事に過ごせることができました。公園でお弁当を食べて、走り回る皆さんが印象的な一年でした。



魚っ知館にて



公園でお弁当



次回 第27号は6月発行予定です。おたのしみに...

